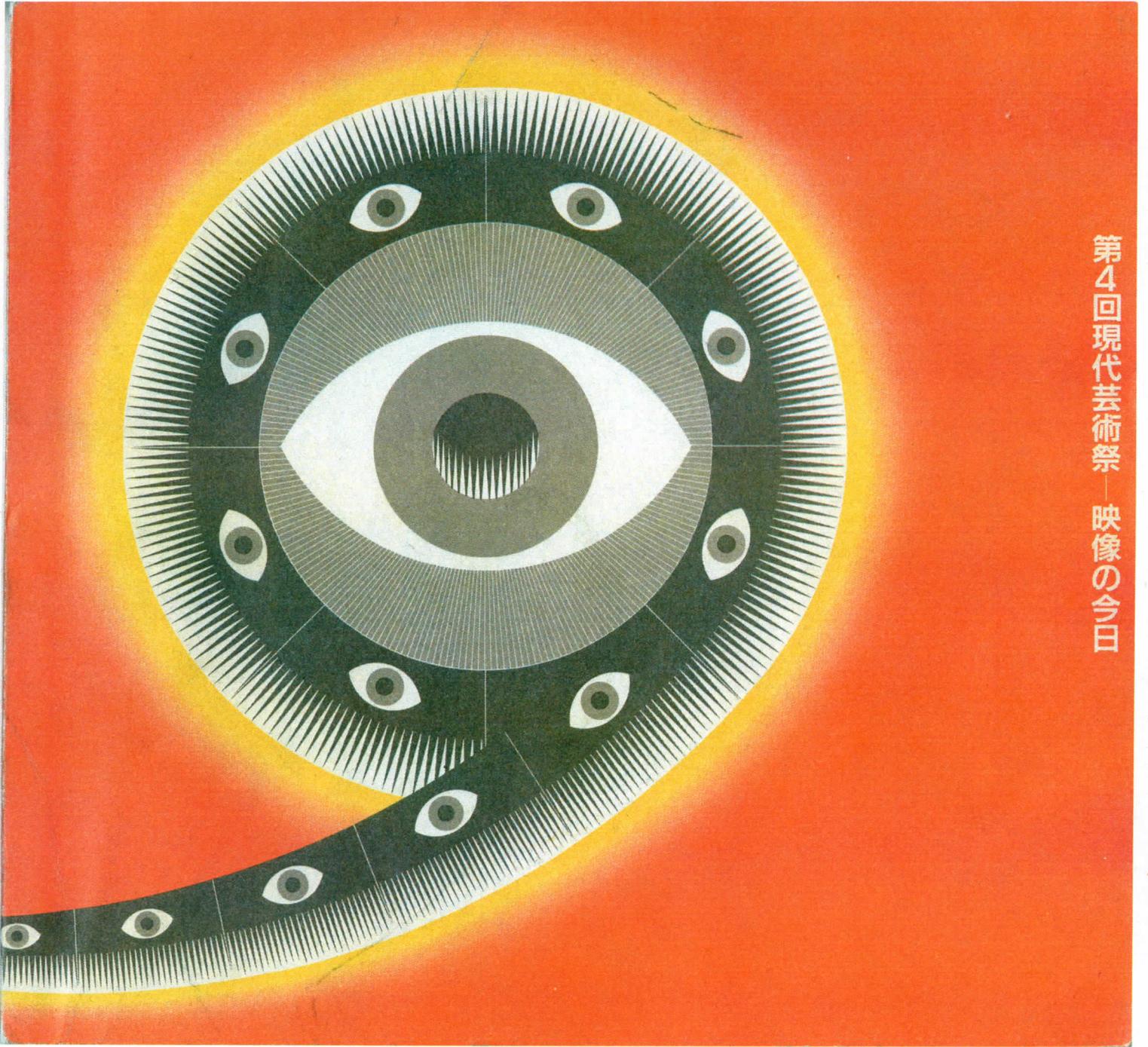


第4回現代芸術祭—映像の今日



1989年7月22日～

富山県立近代美術館

土佐尚子

Naoko Tosa

私は常に幻覚を引き起こす映像に興味があります。こうした映像によって知覚は変えられ異なる視点からものを眺められます。閉じ込められていた精神を開放し、私たちは私たち自身の世界に戻るわけです。

略歴

1961年福岡市に生まれる。1982年九州造形短期大学デザイン科グラフィック専攻を卒業、1983年報映産業株、1985年学研コンピュータ・グラフィックス映像センターを経て、1987年総合電子専門学校コンピュータ・アート科主任講師となる。1984年から如月小春主宰・劇団 NOISE の映像を担当する。1984年ビデオカクテル（駒井画廊他、東京）、1985年ビデオカクテル2（NEWZ、東京）、SCAN'85 Autumn（ビデオギャラリー SCAN、東京）、NICOGRAPH'85 佳作賞、1986年ニュービデオ・ジャパン（ニューヨーク近代美術館）、シーグラフ'86、'87、1987年日本のCGアート展（O美術館、東京）、アートドキュメント'87（栃木県立美術館）、フジTV主催国際映像 & 音楽大賞最優秀演出賞（東京）、ビデオセレクト'87（北海道立近代美術館）、1988年ジャパンナウ・スウェーデンナウ（スウェーデン）、第2回ふくい国際ビデオ・ビエンナーレ（福井）、日本国先端科技芸術展（台湾省立美術館）など国内外の映像展に多数出品。東京都中野区在住。

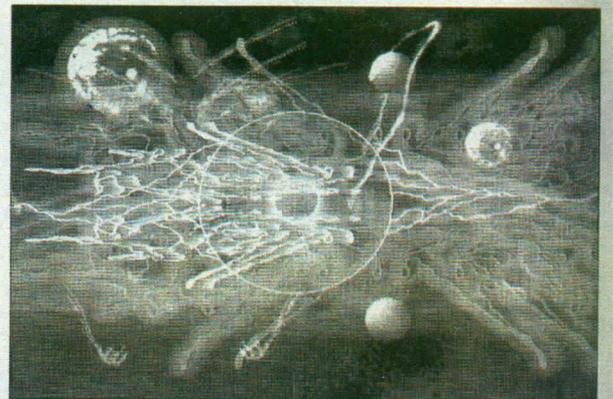
28-1 土佐尚子 TRIP 1985
Naoko Tosa TRIP 1985



28-2 土佐尚子 PROPAGANDA 1986
Naoko Tosa PROPAGANDA 1986

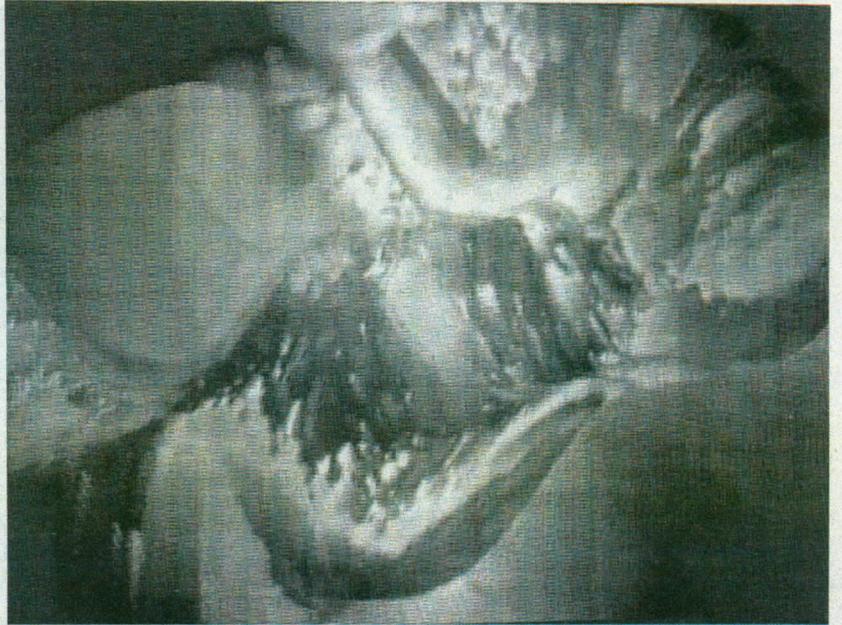


28-3 土佐尚子 Big Eyes 1987
Naoko Tosa Big Eyes 1987



協力：川崎市市民ミュージアム／映像通信㈱／NEC

28-4 土佐尚子 ECSTASY 1988
Naoko Tosa ECSTASY 1988



28-5 土佐尚子 TRANCE 1989
Naoko Tosa TRANCE 1989

